

ボッシュ、渋谷区をはじめ全国の中高生を対象とした キャリア教育プログラムをオンラインで初提供

2020年8月

C/CGR-JP-2020-10

- ▶ 渋谷区をはじめ全国の中高生 33 名が参加
- ▶ 中高生を対象としたキャリア教育プログラムの実施ならびにオンラインでの提供は、ボッシュ初の試み
- ▶ ボッシュの社員がメンターとして学生をサポート
- ▶ 3~4名のチーム制で「ボッシュのリソースを活用し、日本の中高生にバズる企画」を提案

東京 ― ボッシュ株式会社は 8 月 18 日(火)、渋谷区をはじめ全国の中高生 33 名を対象としたキャリア教育プログラムを、オンラインで初めて提供しました(主催:特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクールおよび株式会社教育と探求社、後援:渋谷区ならびに渋谷区教育委員会)。今回のプログラムは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校行事や部活動の大会の中止など学びの機会が制限されている中高生に対して、校外での活動を通して刺激を受けることで、普段とは違う視点で物事を捉える機会を提供したいという思いから実現したものです。

当日は、渋谷区をはじめ全国の中学生 19 名、高校生 14 名の計 33 名が参加し、ボッシュについての会社・事業紹介、バーチャル社内見学の後、9つのチームに分かれて「ボッシュのリソースを活用し、日本の中高生にバズる企画を提案せよ!」という課題に取り組みました。各チームには、ボッシュの社員がメンターとして加わり、学生のサポートにあたりました。



参加した中高生(一部)とボッシュ社員など関係者による集合写真

ボッシュは 2017 年より、渋谷区と地域社会の諸課題を解決することを目的とした「シブヤ・ソーシャル・アクションパートナー協定」を締結しています。今回のプログラムは、渋谷区ならびに渋谷区教育委員会の後援のもと、特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクールおよび株式会社教育と探求社が実行委員会となり、実施に至りました。

ボッシュ株式会社代表取締役社長のクラウス・メーダーは、次のように述べています。「ボッシュでは、教育や学びの機会を重要視しています。デジタル化の推進により、学ぶことの出来る環境は従来の枠を超え、仮想教室にまで広がっています。今回、将来を担う全国の中高生に学びの場を提供できたことを、大変うれしく思います。プログラムへの参加が、参加者のみなさんの視野の拡大や、主体的かつ積極的に学ぶ姿勢の醸成につながることを期待しています。」

渋谷区長の長谷部 健氏は、「渋谷区では、将来を担う子どもたちの育成に意欲的に取り組んでいます。今回、渋谷区をはじめ全国の中高生がグローバル企業のキャリア教育プログラムに参加できたことを、大変うれしく思います。子どもたちにとって、将来の進路やキャリアを考えるうえで刺激になったことと思います」と述べています。

なお、ボッシュの社員による厳選な審査の結果、「オンライン ボッシュ博物館」を提案したチームがグランプリを獲得しました。若者の車離れに着目してユニークな VR(仮想現実)体験を取り入れた企画内容と、グループメンバーが協力して発表した点が高い評価に繋がりました。

ボッシュ株式会社人事部門長で審査委員長を務めた新井信行は次のように述べ、プログラムを締めくくりました。「今回は、参加者のみなさんの成長の一助になりたいという想いで実施に至りましたが、みなさんからは社会人では思いつかないような柔軟な発想が飛び出し、私たちも多くの刺激を受けました。今日という 1 日が、みなさんの将来にポジティブな影響をもたらすことを期待しています。」

【プログラム概要】

対象： 渋谷区をはじめ全国の中学 1 年生～高校 3 年生 計 33 名
実施日： 2020 年 8 月 18 日(火) 9 時～16 時
実施場所： オンライン(オンライン会議ツールを使用)
後援： 渋谷区・渋谷区教育委員会
実行委員会： 特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクール
株式会社教育と探求社
審査委員長： ボッシュ株式会社人事部門長 新井信行
審査員： 新規事業開発部ゼネラル・マネージャーなどボッシュの社員 3 名

報道関係対応窓口:

角谷 清彦

古市 愛子

電話: +81-3-5485-3393

特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクール概要

昨今、学童保育の不足が社会課題として深刻化。子どもにとっての学びある豊かな時間が保証されていない現代の放課後は、子どもたちのチャレンジ意欲や自己肯定感を低下させています。放課後 NPO アフタースクールは、学校施設を活用し、地域の大人=「市民先生」と共に本物の技や知恵を子どもたちに届けるアフタースクールを展開。また、様々な企業等と協働し、社会全体で子どもを育てることに挑戦しています。(累計 100 万人以上の子どもが活動に参加)

アフタースクール開校数:21 校/連携企業 300 社以上/市民先生 5,000 人以上

詳細に関しては、<https://npoafterschool.org/> をご参照ください

株式会社 教育と探求社概要

「自分らしく、生きる」を企業理念とし、企業・社会課題・起業等をテーマにした探究学習プログラム

「クエストエデュケーション」を全国195校・約34,000人の生徒に提供中。

経済産業省「未来の教室」実証事業者。

詳細に関しては、<https://edug.jp> をご参照ください

日本のボッシュ・グループ概要

日本のボッシュはボッシュ(株)、ボッシュ・レックスロス(株)、その他の関係会社から構成されます。ボッシュ(株)は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ボッシュ・レックスロスは油圧機器事業、FA モジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。さらにボッシュセキュリティシステムズ株式会社は、人命や建築物、財産などを守る製品とソリューションの提供を主要な事業としています。2019 年の日本のボッシュ・グループの第三者連結売上高は約 3,300 億円で、従業員数は約 6,700 人です。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2019 年の従業員数は約 40 万人 (2019 年 12 月 31 日現在)、売上高は 777 億ユーロ (約 9.5 兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー 4.0 さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステイナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI (人工知能) を搭載する、もしくは AI が開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 126 の拠点で約 7 万 2,600 人の従業員が研究開発に、約 3 万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

*2019 年の為替平均レート、1 ユーロ=122.0058 円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)